

電柱の二次被害対策について

令和2年 3月23日

電気事業連合会

1.電柱損壊事故における二次被害防止対策について(飛来物対策)

- 前回WGにおけるご指摘
 - ✓ 電柱の損壊事故については、原因の大半が倒木や飛来物等による二次被害であったことを踏まえ、二次被害対策を強力に推し進めていく必要がある
 - ✓ 各電力会社の取組を強化するために、二次被害対策に関する各社の取組事例を水平展開し、着実に実施していくことが重要
- 各社の飛来物対策PR活動（取組事例）の共有を実施済みであり、各産業保安監督部とも連携し台風シーズンに向けてPR活動の一層の強化に努めていく。

■飛来物対策PR活動の実施状況

実施済（●）、実施予定（□）

		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
活用メディア	TV			●	●	●	●	●	●	●	●
	ラジオ	□	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	新聞				●	●	●			●	●
発信社	SNS	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	HP、アプリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
と社外連携組織	定期調査時のリーフレット配布	□	□	□	□	□	□	□	●	●	●
	J A等 農業従事者へのチラシ配布	□	□	□	●	□	□	□	□	□	●
	各自治体と連携したPR	□	□	□	●	□	□	□	●	●	●
	各保安監督部と連携したPR	□	□	□	□	□	□	□	□	□	●

※2018年度台風21,24号以降に実施は青字、2019年度台風15,19号以降に実施は赤字

2.電柱損壊事故における二次被害防止対策について(倒木対策)

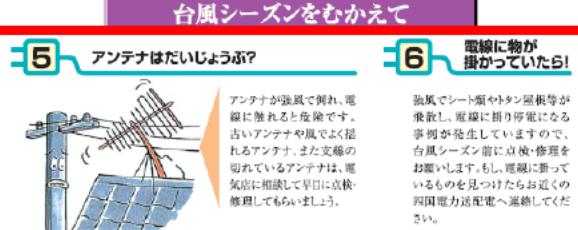
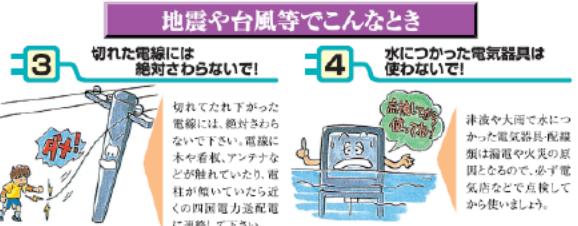
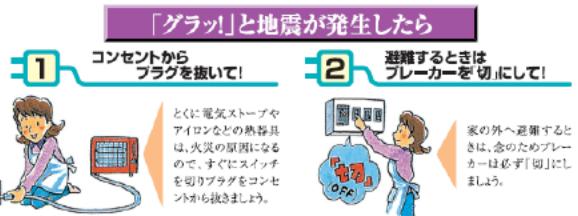
- 政府検証チーム会議（1/16）の中間とりまとめ等において、倒木対策として「電力会社・自治体の連携による事前伐採の推進」が整理されたところ。
- 各電力会社は、関係自治体と台風災害時等における倒木処理や道路復旧等の役割分担や連携方策について台風シーズン前までに確認することを目指し、事前伐採※も含め協議を進めているところであり、積極的に関係各所に働きかけていく。
※重要インフラ施設周辺森林整備事業を含む
 - 各電力会社は4 1の自治体（都道府県）と協議中であり、残りの 6 の自治体についても早急（4月上旬目途）に協議を開始する。
 - 事前伐採についても自治体との合意が得られた電力では、既に取組を開始
⇒ 中部電力は管内4県下の一部自治体と連携し、事前伐採を実施中
また新たに三重県および大台町と事前伐採について合意
- 事前伐採は停電被害の未然防止だけでなく、倒木による道路閉塞等の交通インフラ等のレジリエンス強化にも効果的な取組であるため、地域住民のご理解を得るべく、関係自治体と連携し銳意促進していく。

(参考) 社外組織と連携した飛来物対策PR活動

- 四国電力、九州電力および沖縄電力においては、定期調査時に低圧需要家へ配布する「電気使用安全パンフレット」の中に、台風への備えとして、飛来物対策PRを記載。
- 定期調査は、電気事業法で定められており、全低圧需要家の電気設備の安全調査を、4年に1回一般送配電事業者から委託された登録調査機関が訪問調査している。なお、調査結果は紙面を以て通知しており、その通知に「電気使用安全パンフレット」を同封する事で、全低圧需要家に対し広くPRする事が可能であり、飛来物対策PRに効果が期待できる。

四国電力

8 地震・台風など、もしもの時に備えて ——電気安全のこころえ——



九州電力

8 地震・台風・集中豪雨など、もしもの時に備えて。

停電への備え



災害・停電に備え、事前準備を



停電時に必要なもの(例)

●携帯ラジオ ●便箋電灯 ●飲料水 ●乾電池 ●ため水(生活用水) ●携帯電話の充電器(電池式)



普段から分電盤の位置を

[通常分電盤は玄関・台所・廊衣所・廊下等の上部に設置されています。]

電気安全のこころえ

「グラッ!」と地震が発生したら

●コンセントから

プラグを抜いて!



●避難するときはブレーカーを「切」にして

家の外へ

避難するときは、念のため

ブレーカーは必ず

「切」にしましょう。

地震や台風等でこんなとき

●水につかった電気器具は使わないで

津波や大雨で水につかった電気器具・配線類は漏電や火災の原因となるので、必ず電気店などで点検してから使いましょう。

●切れた電線には、絶対さわらないで

切れたたれ下がった電線には、絶対さわらないで下さい。木や看板、アラナなどが触れていたり、電柱が傾いていたらお近くの九州電力送配電所に連絡をお願いします。

●ガス漏れがあった場合、電気は使用しない。

ガスの臭いがする時はガスの使用を避け、ガス栓を切って、窓を開けて、よりのガス事業所へご連絡ください。

沖縄電力

地震・台風など、もしもの時に備えて

グラッと地震が発生したら…

(1) コンセントからプラグを抜きましょう。



(2) 避難するときはブレーカーをOFF「切」にしましょう。



台風シーズンをむかえて

(1) はがれそうなタントやテントは堅固に固定しておきましょう。



(2) アンテナや庭木の枝は丈夫?



地震や台風等でこんなとき

(1) 切れた電線や倒れた電柱等は絶対にさわらないで



(2) 水につかった電気器具は使わないで



- 中部電力および沖縄電力においては、JA等の農業従事者に対するお願いや、各自治体や産業保安監督部等の講演会にて、「台風対策PRチラシ」を配布。
- 効果的なPRのためには、自治体等の関係機関と連携した対応が有効と考えられるため、本内容を好事例として全電力に水平展開し、更なる二次被害防止のPR活動に努めて参りたい。

中部電力



沖縄電力

